

[成果情報名] 平坦地における根深ネギの周年栽培を可能とする作型と有望品種

[要約] 平坦地における根深ネギの周年栽培は、春どりで「羽緑一本太」を、初夏どりで「初夏扇2号」を、夏どりで「大地の響き」「夏扇パワー」を、秋冬どりで「龍ひかり2号」「夏扇パワー」を用い、新たな作型で栽培することで可能となる。

[担当] 山梨県総合農業技術センター・栽培部・データ農業・野菜科・五味愛美

[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

山梨県のネギの作型はこれまで「秋冬どり」が主流であったが、年間を通じた周年出荷が望まれている。そこで平坦地や高冷地で「春どり」や「夏どり」など新たな作型を確立し、県産ネギの安定供給を図る。

[成果の内容・特徴]

1. 【春どり】

品種「羽緑一本太」を用い、5月中旬～6月中旬に播種することで、翌年4月上旬～中旬まで収穫することができる（図1、表1）。

2. 【初夏どり（被覆）】

品種「初夏扇2号」を用い、10月中旬に播種し、定植後の12月中旬から翌年3月下旬までトンネル被覆することで、6月中旬から7月上旬に収穫することができる。トンネル被覆では2月中旬頃から温度が上がりすぎないように換気を行う（図1、表1）。

【初夏どり】

品種「初夏扇2号」を用い、11月に播種することで、7月中旬～下旬に収穫することができる（図1、表1）。

3. 【夏どり】

品種「大地の響き」「夏扇パワー」を用い、1月中下旬に播種することで、8月に収穫することができる（図1、表1）。

4. 【秋冬どり】

品種「龍ひかり2号」「夏扇パワー」を用い、2月中旬から3月中旬に播種することで11月下旬から翌年1月に収穫することができる（図1、表1）。

[成果の活用上の留意点]

1. 試験は総合農業技術センター本所（標高 315m）で行った。
2. 育苗はチェーンポット CP303 を用い、1 穴あたり 2 粒播きとした。
栽植密度は畝間 1m、株間 2.5cm の 40,000 株/10a とした。
施肥成分量は、窒素-リン酸-カリ=21-29-20kg/10a とした。
窒素、カリは基肥：追肥=3：7 とし、リン酸は 9 割を基肥とした。
3. 軟白確保のための最終の土寄せは収穫予定日より 3 週間以上前に行った。
4. 過湿に弱いため、圃場の排水対策に努める。特に夏場の冠水は病害を助長するため注意する。

[期待される効果]

1. 高冷地との標高差を活かしたリレー栽培により周年を通じた県産根深ネギの供給が可能となる。
2. 複合経営の新たな補完品目として、野菜、水稻、果樹農家が導入可能となる。

[具体的データ]

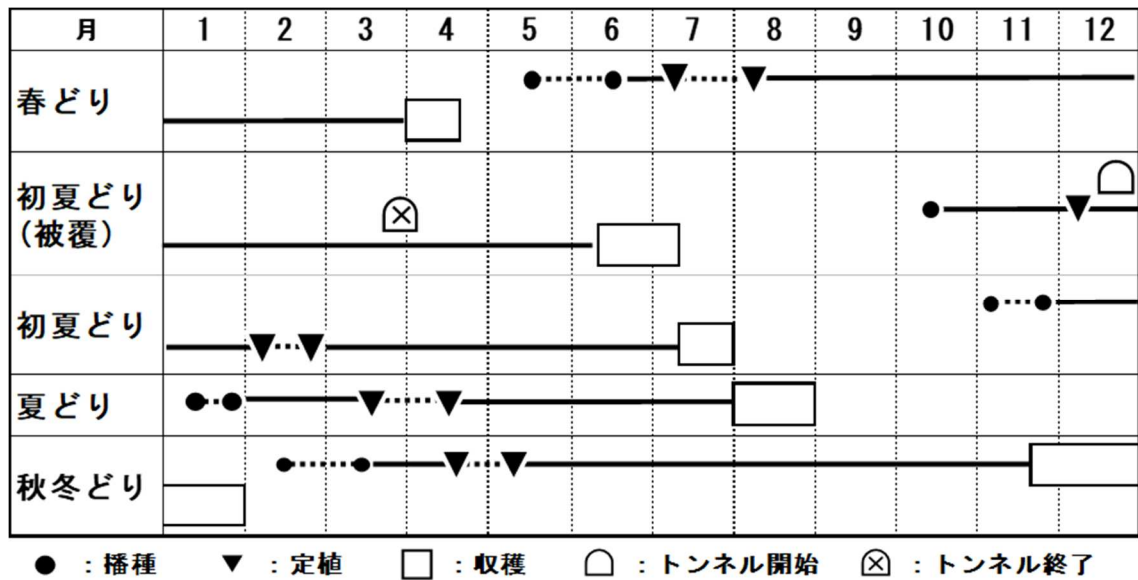


図1 根深ネギの周年作型(平坦地)

表1 根深ネギの品種特性(平坦地)

作型	品種	軟白長 (cm)	調製重 (g/本)	可販収量 (kg/10a)	播種期 (月/旬)	収穫期 (月/旬)	特徴
春どり	羽緑一本太	29.1	228	7,779	5/中～ 6/中	4/上～ 4/中	生育良好で可販収量が多く、抽だいや分げつが少ない。4月下旬には抽だいするため注意する。
初夏どり (被覆)	初夏扇2号	25.2	173	6,008	10/中	6/中～ 7/上	生育良好で可販収量が多く、襟割れや抽だいが少ない。
初夏どり		27.1	157	5,840	11/上～ ～下	7/中～ 7/下	
夏どり	大地の響き	25.2	147	5,174	1/中～ 1/下	8/上～ 8/下	生育良好で、可販収量が多い。
	夏扇パワー	25.4	137	4,742	1/中～ 1/下	8/上～ 8/下	
秋冬どり	龍ひかり2号	27.1	180	6,745	2/中～ 3/中	11/下～ 1/下	耐寒性が強く葉痛みが少ない。抽だいの開始が遅い。
	夏扇パワー	25.9	186	6,508	2/中～ 3/中	11/下～ 1/下	生育良好で、可販収量が多い。

軟白長・調製重・可販収量は R6 年度に収穫した数値。播種期、収穫期は R4～R6 年度の結果をもとに判断した。

[その他]

研究課題名：根深ネギの安定的な周年出荷技術の確立

予算区分：成長戦略

研究期間：2022～2024 年度

研究担当者：五味愛美、岩間亮太、志村貴大、塩崎欽哉、志村純子